

## 2022年6月21日開催 第25回株主総会 質疑応答要約

<b>Q1</b>	<p>『デリシャスパーティ♡プリキュア』の放送が1ヶ月ほど中断しましたが、当社にも作品制作や、映像商品の販売計画に影響が及んだのでしょうか。</p> <p>また、経営体制に関して、取締役がゲーム事業に偏っており、使用人の数も音楽映像事業のみ減少しているため、特に舞台公演事業が縮小されているのではないかと危惧しています。ライブやステージは依然厳しい状況かと思いますが、今後の展望を聞かせてください。</p>
<b>A1</b>	<p>制作話数の減少により、パッケージ販売の巻数も減少しますので、売上への影響は出てまいります。不正アクセスそのものによる、当社のサーバーやデータ等への直接の影響はございませんでした。</p> <p>取締役の員数の多寡により各事業への力の入れ方が変わるということは全くございませんのでご安心ください。ゲーム事業の方が、オンライン分野など多岐にわたる技術・ノウハウがこれから必要になるため、必然的に取締役の員数が多くなっておりますので、ご理解いただきたいと思っております。</p>
<b>Q2</b>	<p>取締役の業績連動型賞与について、「但し、連結営業利益が対外発表の予想を下回った場合は支給せず」と記載されていますが、コロナ禍で業績予想が立てにくいことやタイトルのヒット・不振で業績が上下するのは理解できるのですが、2022年3月期に関しては第2四半期の決算発表において、営業利益等の予想を発表されていたと思っております。ある程度目処が立ってからの予想の数字が支給判断基準の一つに含まれている点は、業績連動型の賞与としてはいかがかと思うのですが、お考えを教えてください。</p> <p>今期についても、現時点では連結営業利益は発表されていませんが、希望としては次の通期予想の発表の段階で、支給判断基準の下限等の発表があつていいのではないかと思います。</p>
<b>A2</b>	<p>業績連動型賞与は、対外発表数値に届かない場合は支給されないため、これまでも未達成の年は支給されておりません。</p> <p>支給する場合は、対外発表数値だけでなく、3年間の平均等、他の条件もあり、我々の立てた内部計画を達成するかどうかで支給可否を判断しております。</p>
<b>Q3</b>	<p>佐藤新社長が執行役員から代表取締役社長となりますが、選任後で構いませんので、取り組みたいことや会社の方向性、方針、課題などがありましたら教えてください。</p>
<b>A3</b>	<p>本日も承認いただいた後、今後の取り組みとしましては、『「驚き」と「感動」を世界に届ける新しいエンターテインメントの創造』という当社の経営理念をしっかりと継承しながらも、より若手社員・若手クリエイターの新しいアイデアを積極的に取り入れて、よりエネルギッシュでチャレンジングな事業展開ができる、そういった企業環境を作ってい</p>

きたいと考えております。

この先マーベラスが一回りも二回りも成長し、より骨太な会社になっていくためには、全ての顧客の方々から信頼をいただけるような、そのベースとなる開発力・プロデュース力をもう一段階、二段階、レベルアップをしていく必要があると感じております。

そのためには、モノづくりに対するこだわり、プロ意識を醸成していきたいと思っており、このようなことを続けることで、事業部を問わず、「マーベラスから提供されるものだから、きっとおもしろいだろう」と、常に期待をしていただき、信頼をしていただける、そんな会社に近づいていけるのではないかと考えております。

以上は中長期的な取り組みとなりますが、喫緊で我々の成長にあたっての大きな課題としては2つ考えております。1つは「オンライン事業の復調」、もう1つは「海外シェアをより伸ばしていくこと」です。課題ではありますが、これがこの先の伸びしろでもあると考えていますので、まずはここに注力していきたいと思っております。

若輩者ですので、株主の皆様においてはご心配もあおりかと思いますが、なるべく早く皆様のご期待に応えられるよう精進してまいりますので、今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

以上